

国民年金保険料は、口座振替がお得です



保険料は、一定期間分をまとめて前払い（前納）すると割引があり、とってもお得です。また、口座振替で前納すると、さらにお得になります。月々の保険料を毎月納めている人は、お得な口座振替での前納をこの機会にぜひご利用ください。

1年前納の場合の割引額

※平成 18 年度の保険料額の場合です。
納付書の場合 2,950 円 → 口座振替の場合 3,490 円
●**口座振替だと、540 円もお得。**

半年分前納した場合の割引額

※平成 18 年度の保険料額の場合です。
納付書の場合 680 円 → 口座振替の場合 940 円
●**口座振替だと、260 円もお得。**

口座振替の申し込み

次の3つを持って、熊本西社会保険事務所、または、菊池市役所、ご利用の金融機関窓口で申し込んでください。

- ①納付書または年金手帳
 - ②預（貯）金通帳
 - ③預（貯）金通帳の登録印
- 半年前納の申し込み後は、年2回の口座振替が始まります。
- 10月～3月分は10月末日に、4月～9月分は4月末日に口座から引き落とされます。
- ※平成 18 年 10 月～平成 19 年 3 月分の口座による半年前納は、平成 18 年 9 月中旬に社会保険事務所での登録処理が完了している必要がありますので、申し込みはお早めをお願いします。
- ※納付書での前納は、半年分に限らず、随時受付中です。申し込むと、保険料が割引された前納用の納付書が、自宅に送付されます。

国民年金基金に加入して年金を増やしませんか

国民年金基金は、国民年金老齢基礎年金（に上積みする公的な年金制度）です。

熊本県内でも自分自身の老後に備えて、12,000人以上の人が加入していて、年々加入者は増えていきます。

○公的な年金なので、安心して加入できます。

○20歳以上60歳未満で、国民年金の保険料を納めている第1号被保険者なら、誰でも加入できます。

※農業者年金に加入している人は、加入できません。

○加入は希望するときからいつでも加入できます。

掛金額は、性別、加入するときの年齢、加入する型により決まります。

※加入年齢が低いほど、少ない掛金で大きな年金が約束されます。

○掛金の支払いは60歳までで、年金の受け取りは65歳からです。

※Ⅲ型は60歳から。

○加入する型には、終身年金A・B型と確定年金Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ型の5種類があります。

この中から、自分で自由に設計できます。

○掛金限度額は、月額68,000円以内であれば、何円でも加入できます。

○納めた掛金は、確実に自分の年金になります。

○掛金は全額社会保険料控除の対象となります。

また、年金も公的年金等控除が適用され、所得税や住民税などの節税効果があります。

●**熊本県国民年金基金ホームページ**
http://www.kumamotokin.or.jp

問い合わせ・加入申し込み・資料請求先
熊本市水前寺公園14-22
パークビル8F
熊本県国民年金基金
☎096(387)2220
または、フリーダイヤル
☎0120(65)4192

誕生月が来たときは現況届の提出を

国民年金を受給している人は、毎年の誕生日の月に現況届を提出してください。

現況届は、1年に1回、誕生月に出していただくもので、あなたが引き続き年金を受ける権利があるかどうかを確認するための大事な届です。

現況届は、誕生日の月初めごろに社会保険業務センターから送られてきます。

12月生まれの人から原則不要となります

今年10月から受給者の皆さんの現況（生存）確認は住民基本台帳ネットワークを活用して行うことになりました。

これにより、12月生まれの人から現況届の提出は原則として不要となります。ただし、次の人は、これ以後も現況届の提出が必要です。

- ・社会保険庁で保有している本人基本情報（氏名、性別、生年月日、住所）と住民基本台帳ネットワークシステムの情報が相違し、住民票コードを確認できない人
- ・外国籍（外国人登録）の人
- ・外国に居住している人

また、次の場合は、現況届以外の出し直しが必要です。

- ・加給年金額を受けられている場合は「生計維持確認届」
- ・障害の程度の確認のために「診断書」の提出が必要なき

※提出が必要な届は、社会保険業務センターから受給者の皆さんへ送付されます。

8月14日(月) すすい孔子公園夏祭り

すすい孔子公園夏祭りが孔子公園であり、たくさん家族連れなどで賑わいました。

泗水町商工会が主体となる「泗水町街造り対策委員会」の主催で行われたものです。合併による見直しで8月5日に市民広場であった「きくち夏まつり」に統合され、市の主催としては行わなくなった孔子公園での夏祭りを復活させた形になりました。

開会では同商工会の福田八洲士会長が「伝統や歴史あるものが消えていくときだからこそ、市民間の交流と親睦を深めるために開催します」とあいさつ。

太鼓やダンス、のど自慢大会、バンド演奏、総踊りがあり、たくさん地元市民が参加しました。

県内でも数少ない大型花火を見ることができるとして有名な恒例の花火大会では、1尺玉が上空に大輪の花を咲かせると、見物客からは大きな歓声が上がっていました。



大空に大輪の花を咲かせた1尺玉の大型花火

7月21日(金)～8月30日(水) 桜山六区で、夏の風物詩「朝のラジオ体操」

泗水町の桜山六区が、土・日・盆休みを除く夏休み期間中に、同区公民館前で朝のラジオ体操に取り組みました。

これは、区民と子どもたちの接する機会が少ない中、みんなでラジオ体操をすることにより、コミュニケーションを図ることを目的で計画されました。

子どもに混じって参加した大人の参加者は「子どもたちの顔が見れ、話す機会もできて良いことだと思うし、毎日の体操で体の調子も良くなりました」と爽やかな笑顔で話されました。

体操終了後には、子どもに交じって大人も、体操カードに印鑑を押しってもらう姿も見られました。



子どもに交じって朝のラジオ体操をする桜山六区の区民たち

8月19日(土)・20日(日) 第3回韓国映画祭inきくち

「もっと知ろう！韓国」をキャッチフレーズに、韓国映画祭が菊池市文化会館でありました。

市民有志からなる「きくち韓国映画祭実行委員会（合志和洋委員長）」ほかの主催で行われたもので、今年が3回目。

今回は、都会から田舎に預けられたわがままな孫がおばあちゃんと心を通わずまでを描いた「チプロ・おばあちゃんの家」、韓国ラブコメディの佳作「マイ・リトル・プライド」、そして韓国映画史上の興行記録を塗り替えた大ヒット人間ドラマ「チングノ友へ」の3本が上映されました。

また、6月から市内でインターンシップ（職場体験）留学生として研修中のソウル保健大学観光日本語通訳科の2年生10人も、特別スタッフとして受付やセレモニーのサポートを務めました。

このほか、日本ではチマチョゴリとして知られる韓国の民族衣装・韓服（ハンボ）を着ての記念写真撮影も、昨年に引き続きあり好評でした。

最終日の上映終了後には、ソウル2泊3日ペア旅行券のほか計75人に豪華賞品が当たる抽選会も行われました。



映画祭スタッフとして入場者を迎えるソウル保健大学の学生たち（右側）